

SS-Lecture 第4回講座

「建築の形としくみ」

平成30年10月13日（土） 前橋女子高等学校

前橋工科大学から高橋利恵先生をお招きし、「建築の形としくみ」というテーマで、講演をいただきました。

内容は前半と後半に分かれ、前半では、主にイギリスの建築物の紹介、後半は建築物が建築物として成り立つための強度を保つ方法についてのお話でした。

前半のイギリスの建築物についての紹介では、セントポール大聖堂やビッグベンなどの芸術品とも言える歴史的建造物の外観や特徴などについて紹介していただきました。

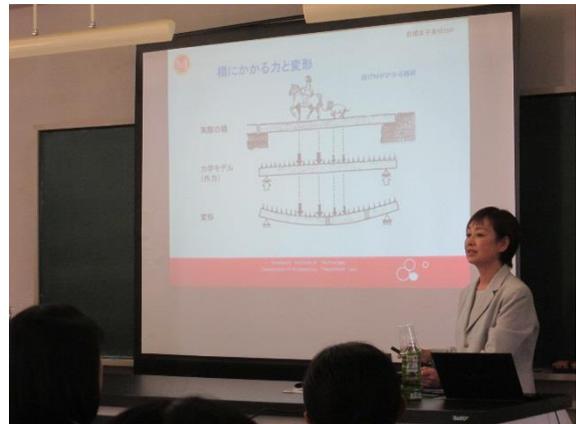
後半の建築物の強度を保つための方法については、「梁」のしくみや三角形を基本とした「トラス」を用いた補強、レンガでアーチを作るときの方法など、ご持参いただいたモデルをもとに、力学的な観点からお話しいただきました。

講座が終わった後でも、生徒からの質問が多く出され、生徒にとっても、建築物に対しての視野を広げることができたようです。

以下は生徒達の感想の一部です。「様々な建物の構造を知ることができました。一つの板でも様々な向きで使うことで、割れにくくなるのがすごかったです。」「先生は前女のOGでいらっしゃるということで興味を持って話を聴くことができました。安全な建築物を作るためには、緻密な計算が必要だということもよく分かりました。どうすれば折れない橋が作れるのかも、しっかり考え計算し、工夫することが大切なことだと思いました。赤レンガが特徴だと思っていた富岡製糸場、実はトラスが本当の見所だとは驚きです。」



イギリスの建築物の紹介



建築物の強度確保について①



建築物の強度確保について②



生徒からの質問